

2017年2月20日

経済レポート

2017年1月の貿易統計の結果

~ 実質輸出は持ち直している ~

調査部 研究員 土志田るり子

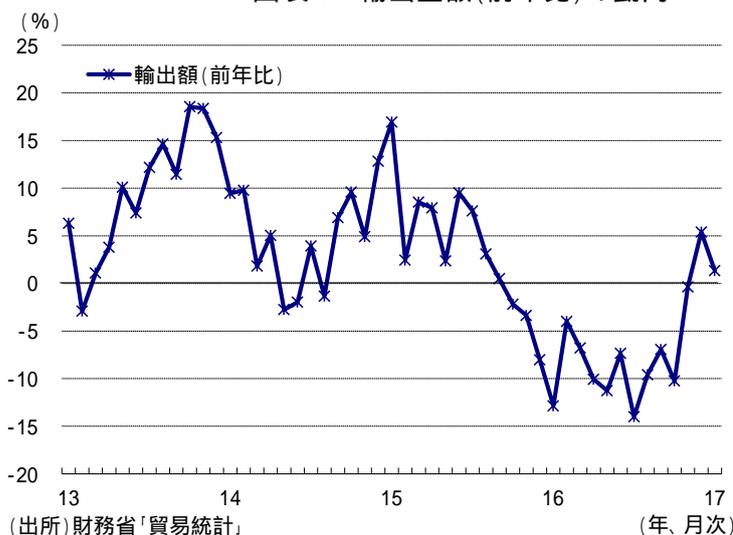
輸出の動向

1月の輸出金額は、5兆4219億円(前年比+1.3%)と2ヵ月連続で前年比で増加した(図表1)。輸出価格指数は前年比+1.6%と上昇に転じた一方で、輸出数量指数が同-0.3%と低下した。なお、1月の貿易取引の換算レートは1ドル=116.48円と12月からは円安が進んだが、前年比では2.6%の円高(16年1月の換算レートは1ドル=119.57円)であり、引き続き円建ての輸出金額が目減りしている。

品目別の動きをみると、自動車(前年比-6.7%)などが減少した一方で、自動車の部分品(同+12.5%)や鉄鋼(同+8.1%)が増加した。地域別では、米国向け(前年比-6.6%)とEU向け(同-5.6%)が減少したものの、アジア向け(同+6.0%)は増加した。

為替の変動等の影響を除いた実質輸出(季節調整値)は、1月は前月比-1.1%と減少したが、水準は依然として高く、均した動きは持ち直している(図表2)。

図表1 輸出金額(前年比)の動向



図表2 実質輸出の動向



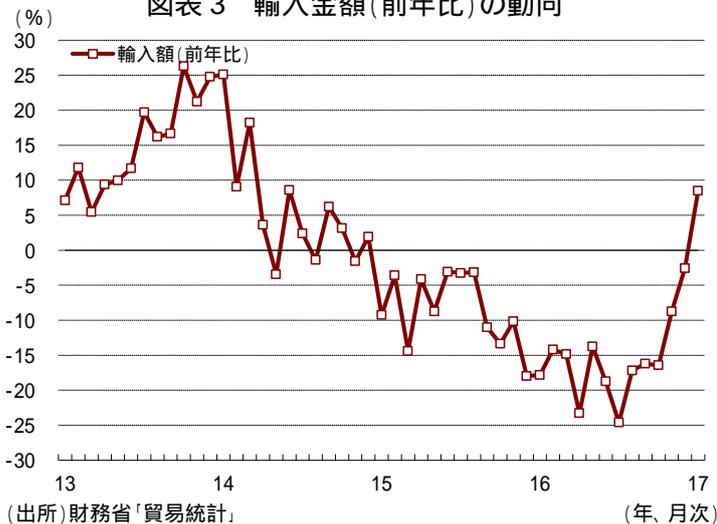
輸入の動向

1月の輸入金額は、6兆5088億円(前年比+8.5%)と25ヵ月ぶりの増加となった(図表3)。輸入数量指数が前年比+6.2%と上昇し、輸入価格指数も同+2.2%と上昇した。為替の換算レートは前年から円高に進んだものの、原油などの資源価格が上昇し、輸入価格指数を押し上げた。

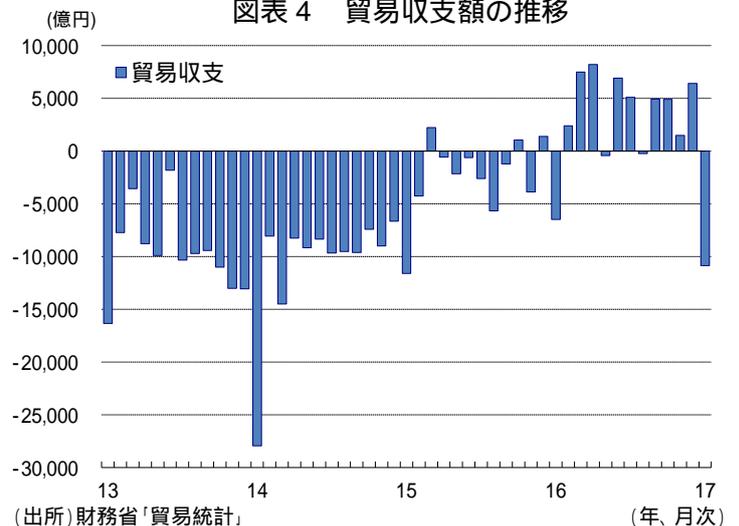
貿易収支の動向

輸出額と輸入額の差である貿易収支は、1月は1兆869億円と5ヵ月ぶりの赤字となった(図表4)。毎年1月は輸出量が少なく、収支が赤字になりやすいが、季節調整値で見ても1555億円の黒字で、前月から黒字幅は縮小した。

図表3 輸入金額(前年比)の動向



図表4 貿易収支額の推移



ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。